農学研究科　食と環境保全特別コース（日本人向けパンフレット）

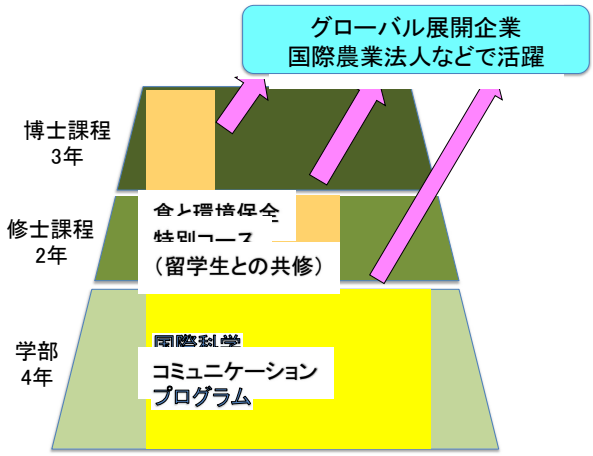
Special Master's Program on Sustainable Food Production and Management

留学生と共に学び、グローバル人材として活躍しませんか？

はじめに

香川大学大学院農学研究科では、2009 年に「日本の食の安全」特別コースを開設し、現在までに約 80 名の留学生と日本人学生が入学し、食の安全に関する専門科目や実習科目を修学し、日系食品関連企業などに就職し、グローバル人材として活躍しています。2024 年 10 月から、「日本の食の安全」特別コースは「食と環境保全」特別コースに生まれ変わります。食の安全だけでなく、食と環境保全という農学全体をカバーする大学院教育プログラムとなります。

学部の国際科学コミュニケーションプログラムの修士課程版と考えてください。本特別コースでは、留学生と日本人学生が同じ教室で日本語と英語の両言語を使って学びます。日本人学生は英語力の強化ができ、特別コースと関連のある企業への就職支援も受けられます。さらに、特別コース独自の奨学金支給も受けられるチャンスもあります。また、博士課程への進学も可能です。農学研究科の 4 つのコースより修了要件単位数が 4 単位ほど多く大変ですがチャレンジしてみませんか。



教育内容の概要

「食と環境保全」特別コースでは、持続的な食料生産、食品加工と安全性、地球環境保全に貢献できる専門知識・技能を有する人材で、日本語と英語でのコミュニケーション能力が高く、これらの分野で、グローバルに活躍できるとなり人材の養成を目的としています。基本的には、応用生物・希少糖科学専攻とほぼ同じカリキュラムになっていますが、以下の点が異なります。

① グローバル人材としての英語能力強化；「ビジネス英語Ⅰ」と「ビジネス英語Ⅱ」が必修です。また、「食と環境保全」特別コース修了要件としては、CEFR B2（TOEIC L&R 875 点程度）以上の英語力が必要です。英語力の修了要件を満たさなかった場合は、特別コースの修了は認められませんが、修士課程の修了には影響しません。

② 「食と環境展開科目」を履修する必要があります。具体的には、「スマート農業特論」、「環境保全学特論」と「科学技術イノベーション特論」が必修で、「農業・食品産業経営特論」、「食品加工学特論」と「社会人基礎力特論」が選択です。また、実習科目である「アドバンスト農場演習」、「アドバンスド環境保全フィールト演習」、「アドバンスト食品産業キャリア演習」から１科目以上を選択する必要があります。

③ また、指導教員開講専門科目（日本語または英語）、指導教員以外が開講する日本語で行う専門科目と英語で行う専門科目の 3 科目以上を修得する必要があります。

その他は、応用生物・希少糖科学専攻の 4 コースと同じです。

「食と環境保全」特別コースでは、やや多く 34 単位以上が修得必要となります。実習科目も多く、留学生と共に実践的に食の原料生産、その環境、貯蔵、加工、流通、販売に関して実践的に学ぶのが特別コースです。英語が得意で、留学生と共にフィールドで活動することが好きな方に向いているコースです。

コースへの参加要件と面接内容

（参加要件）

① 香川大学院農学研究科の入学試験に合格すること。

② CEFR B1 レベル以上の英語能力を示す書類（TOEIC L&R 550 点程度など）を出願時までに提出できること。

③ 参加希望者は、7 月に行われる大学院推薦入試または、1 月に行われる大学院後期入試出願締め切り日までに、志望理由書と修士の研究計画書を学務係まで提出すること。

（面接内容）

7 月に行われる大学院推薦入試または、1 月に行われる大学院後期入試日に日本語と英語での口頭試問を行います。

奨学金と就職支援について

① 日本人学生 1 名に対して月 3 万円の奨学金を給付する予定です。ただし、支給する学生数や支給額に関しては変更することがありますので、希望者は、必ず、学務係に確認して下さい。

② 特別コースでは、コンソーシアムに参画いただいている企業に講義やインターンシップに協力していただいており、これらの関連企業などへの就職支援も行っています。

③ また、博士課程に進学する場合は、進路相談にも乗ります。

申請書類等の提出先及び本件照会先

香川大学農学部学務係 食と環境保全特別コース担当

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸 2393

E-mail: gakumu-a@kagawa-u.ac.jp

Tel: 087-891-3127

Fax: 087-891-3022

カリキュラム表

授業科目	必須	1年次（クォーター）				2年次（クォーター）				担当教員
	◎	1	2	3	4	1	2	3	4	
ビジネス英語Ⅰ	◎					1				ルーツ
ビジネス英語Ⅱ	◎						1			ルーツ
ベーシック国際研究コミュニケーション	◎	1								ルーツ
アドバンスト国際研究コミュニケーション	○			1						ルーツ
国際修士インターンシップ	○	4								ルーツ他
国際研究実践コミュニケーションE	○					1				指導教員、ルーツ
科学研究リテラシー	◎	1								研究科教員
応用生物科学クロストークセミナー	◎			1						研究科教員
希少糖イノベーション	◎	1								吉原
希少糖植物科学特論	○			1						望月
希少糖応用生命科学特論	○		1							櫻庭、佐藤、杉山
希少糖食品科学特論	○		1							小川、松尾、高田、森本、吉原
スマート農業特論	◎		1							武藤、水田、実務家教員
環境保全学特論	◎	1								豊田鮎、伊藤、一見、実務家教員
農業・食品産業経営特論	○		1							武藤、創発科学教員、実務家教員
科学技術イノベーション特論	◎		1							創発科学研究科教員(予定)
食品加工学特論	○		1							樋口、蓮井、実務家教員
社会人基礎力特論	○			1						谷澤、塩井、高水
アドバンスト農場演習	○	1								諸隈、川崎、水田、豊田正他
アドバンスド環境保全フィールト演習	○	1								杉田、水田、実務家教員他
アドバンスト食品産業キャリア演習	○	1								樋口、田村、小川他
専攻セミナーⅠ	◎	1								指導教員
専攻セミナーⅡ	◎			1						指導教員
専攻セミナーⅢ	◎					1				指導教員
指導教員開講科目（日本語または英語）	◎	1								指導教員
指導教員以外が開講する科目JⅠ（日本語）	◎	1								研究科教員
指導教員以外が開講する科目EⅠ（英語）	◎	1								研究科教員
修士演習Ⅰ	◎	3								指導教員
修士演習Ⅱ	◎			3						指導教員
修士演習Ⅲ	◎					3				指導教員
修士演習Ⅳ	◎							3		指導教員
修士論文	◎							2		指導教員

留学生との共学マップ

	年次	1年次		2年次	
10月入学 国費留学生 私費留学生	期間	第1セメスター （10月～3月）	第2セメスター （4月～9月）	第3セメスター （10月～3月）	第4セメスター （4月～9月）
	日本語力強化	基礎ビジネス日本語 ⅠとⅡ	ビジネス日本語ⅠとⅡ		
	英語力強化		ビジネス英語ⅠとⅡ ﾍﾞｰｼｯｸ国際研究ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ国際研究ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	
	基礎科目		科学研究リテラシー		
	希少糖共通科目		希少糖イノベーション		
	食と環境 展開科目 （座学）		スマート農業特論 環境保全学特論 農業・食品産業経営特論 科学技術イノベーション特論 食品加工学特論 社会人基礎力特論		
	食と環境 展開科目 （演習）		アドバンスト農場演習 アドバンスト環境保全フィールド演習 アドバンスト食品産業キャリア演習		
	専門科目		指導教員が開講する専門科目（日本語または英語） 指導教員以外が開講する専門科目J1（日本語） 指導教員以外が開講する専門科目E1（英語）		

主な共修期間

	年次	1年次		2年次	
4月入学 日本人学生 私費留学生	期間	第1セメスター （4月～9月）	第2セメスター （10月～3月）	第3セメスター （4月～9月）	第4セメスター （10月～3月）
	日本語力強化	ビジネス日本語ⅠとⅡ （留学生のみ）			
	英語力強化	ﾍﾞｰｼｯｸ国際研究ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ国際研究ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	ビジネス英語ⅠとⅡ	
	基礎科目	科学研究リテラシー			
	希少糖共通科目	希少糖イノベーション			
	食と環境 展開科目 （座学）	スマート農業特論 環境保全学特論 農業・食品産業経営特論 科学技術イノベーション特論 食品加工学特論 社会人基礎力特論			
	食と環境 展開科目 （演習）	アドバンスト農場演習 アドバンスト環境保全フィールド演習 アドバンスト食品産業キャリア演習			
	専門科目	指導教員が開講する専門科目（日本語または英語）			

「食と環境保全」特別コース　志願理由書と研究計画の概要

氏　名		希望専攻分野名	
連絡先	住所	卒業（見込み）大学・学部名	
	電話	卒業（見込み）年/月	

志願理由（英文）

修士研究計画の概要（英文）